活動報告（写真）　　協働のまちづくり活動支援事業公開選考会（プレゼンテーション）

日時：平成 19 年 6 月 23 日（土）13：30～16：00

場所：江別市民会館　37号室

事業の目的、概要

　協働のまちづくり」を進めるために、市民活動団体（グループ）と市民の交流の機会として設けるもので、市民が行う協働のまちづくり事業提案を公開の場で発表（プレゼンテーション）してもらい、市民の選考委員による審査を行い支援する事業を決定するものです（江別市「協働のまちづくり活動支援事業」）。 今回は、公開選考会（プレゼンテーション）の実施について、NPO 法人えべつ協働ねっとわーくが委託を受けたものです。

会場全景

審査員（左から岡田氏、武田氏、星氏）

三好江別市長の挨拶

司会の白鳥理事長

「全体の感想」藤田江別市企画政策部部長

協働のまちづくり活動支援事業公開選考会　参加団体

1		**江別エコピク実行委員会**　「まろんちゃんの『かんきょうもんだいってなんだべ？』」～環境絵本の創作と読み聞かせ～ 子どもたちと一緒に環境をテーマにした絵本を創作し、市内5か所で絵本の読み聞かせをして、子どもたち・お母さんたちと広く環境について考える機会を持ちます。 絵本制作にあたっては、子どもたちと一緒に環境について勉強したり、テーマを考えたり、子どもたちの目線にあった絵本制作にあたります。
2		**M′ sキッチン(エムズキッチン)**　「シルバーはつらつクッキング」 高齢者の孤食や低栄養など、また食環境（食生活の洋風化による脂肪の摂りすぎ、野菜不足のよる食物繊維の不足）などで生活習慣病が増加している。 シルバー世代を対象に、江別産の食材を積極的に使い、バランスの良い献立を提供し、手作りの大切さ、楽しさを伝え、健康的な食事を提案する。
3		**母ほっとしてぇ～しょん** 「ママ・ダスケ、人ダスケから始まるみんなの子ソダテ!地域のキズナ～まずはワタシから～」 ①映画「六ヶ所村ラプソディー」の自主上映会 ②介護ステーションひだまりを中心としたお年寄りとの交流 ③江別の学生が主催するボランティアサークルへの参加・交流 ④厚生労働省提唱の「妊婦さんマーク」を市民に呼びかける
4		**NPO法人アース・ウインド** 「江別の景観デザイン」　　都合により取り下げ
5		**江別観光ボランティアガイド**　「見て聞いて・感じて『江別』コミュニケーション」 「江別を少しでも知りたい。」と思われている市外のお客様。我が町をもっと知りたいという市民の方達の生の声を多く聞いてきた。従来の徒歩と口頭による案内のほか、パワーポイント等の映像を通して江別の歴史や文化を紹介する。体力や時間の許される方は自分の足で確かめ、江別の風や姿を肌で感じてもらうことができると期待している。
6		**Good　Practiceネットワーク　（ぐっとぷらくてぃすねっとわーく）** 「学生と交流する手づくり体験教室」 地域交流活動の参加者は7割程度が女性である。男性が参加しやすい手作り料理、食器づくり、手づくりビールなど、軽作業型の交流教室を行うことで、団塊世代の地域デビューを図り、普段交流する機会があまりない学生も参加することで世代間の交流促進にもなる。
7		**子ども文化ネットワーク・江別** 「講演会(図書館でまちづくり)と学校図書館報告集の発行(学校図書館を考える会報告会)」 ①講演会：函館図書館の館長さんを講師にお迎えし、公共図書館が果たす役割と、子どもたちの可能性を引き出す楽しみ方を学びます。 ②報告集の発行：学校図書館が考える会が収集したアンケート調査や資料をまとめ、報告集を発行し今後の学校図書館・図書館推進事業に生かしていきたい。
8		**NPO法人地域(まち)で楽しく暮らすネットワーク** 「『食』を通した地域コミニュティーの拡大」 ①ミニコンサート：障がいのある方たちのバンド演奏・絵画展覧会、ボランティア団体による読み聞かせを行うことにより、障がいある方たちへの理解と啓発を図る。 ②ミニ講演会：「食」に関する話を聞いたり、障がいのある方とともに地元の食材をつかった料理を作り、「食」に対する意識や見方を変えるとともに、障がいのある方たちに対する理解を深める。

結果は、江別市より2週間以内に各団体に通知される予定です。　良い結果が届きますように。